

# 環境会計

ムラタでは、事業活動における環境保全のためのコストと、その活動によって得られた効果を把握・分析することで、効率的な環境経営に活かしています。

## 環境コストマネジメント

### 海外にも制度の展開を計画

ムラタは2003年に環境コストマネジメント制度を構築しました。これは、国内事業所・子会社において、環境活動にどの程度の費用を要し、どれだけの効果が得られたのかを把握し、継続的な環境負荷低減活動につなげるための制度です。

2006年度から、海外子会社において、この制度を導入する準備を進めていますが、いづらか解決しなければならない課題があるため、これら課題を解決し、2008年度より運用を開始する予定です。

## 2006年度の結果と分析

### 公害防止関連の投資額が増加

2006年度の環境活動費用は約40億円、投資額は約17億円でした。

温暖化防止策のひとつとして実施してきたコジェネレーションシステムなどの省エネ関連投資が一段落したことで、地球環境保全の投資額は減少しましたが、新工場建設にともなう排ガス・排水処理装置などの設置によって、公害防止の投資額が増加しました。

効果としては、ダブルバンドル冷凍機などを積極的に導入した結果、温室効果ガス排出量を約17万トン削減することができました。

## 環境会計

分類		費用(百万円)		投資額(百万円)	
		2005年度	2006年度	2005年度	2006年度
事業所エリア内 コスト	公害防止	464	<b>470</b>	239	<b>893</b>
	地球環境保全	364	<b>319</b>	1,178	<b>512</b>
	資源循環	1,326	<b>1,511</b>	190	<b>109</b>
上下流環境保全コスト		149	<b>120</b>	0	<b>0</b>
管理活動コスト		429	<b>472</b>	0	<b>97</b>
社会活動コスト		164	<b>200</b>	1	<b>1</b>
研究開発コスト		1,468	<b>930</b>	129	<b>96</b>
環境損傷コスト		0	<b>0</b>	0	<b>0</b>
合計		4,364	<b>4,022</b>	1,737	<b>1,708</b>

- ① 集計対象は村田製作所の各事業所および国内生産子会社(17社)です。
- ② 2006年4月から2007年3月までの12ヵ月間を集計対象期間としています。
- ③ 費用には人件費、減価償却費を含んでいます。
- ④ 環境保全コストとそれ以外のコストが結合した複合コストについては按分集計を行っています。
- ⑤ 研究開発コストは、環境配慮を主目的とした研究開発に要した費用を集計しています。

